

臼杵市 施策評価シート
(令和元年度)

評価 担当者	課名 学校教育課	氏名 後藤 徳一	内線 3110
-----------	-------------	-------------	------------

コード	V-12-28	施策名	幼(保)小中高連携の推進
施策の 方針	ふるさとを担うたくましい人材を育てる		
まちづく りの方針	磨き輝き続ける市民がつながり、臼杵っこが育つまち(学び)		
施策の 目的	将来の臼杵を支える人材の育成に向け、学校間の連携及び家庭との連携の更なる強化をはかり、幼稚園(保育所)・小学校・中学校・高等学校へ進学する際に、安心して進学できる体制を整えます。		
施策の 内容	義務教育9年間を見通した小中一体教育を全市展開し、18年間を意識した幼保小中高のつながりを円滑にする取組を推進します。中学校ブロックで教職員が集まり、授業参観や児童生徒の情報交換を行い、地域の課題を考え、特徴を活かした学習活動を行います。特性のある子どもには個別の支援計画を活用してその特性に応じた指導を行います。臼杵出身の高校生・大学生が、母校の中学校で夏季休業中に学習サポーターとして後輩を指導します。		

<指標>

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移						
			単位	H26	H27	H28	H29	H30	R1
小中一体教育の実践校数	小中一体教育を行う学校数	目標 実績 達成率	校	4	19	19	18	18	18
			%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
			目標	32.0	35.0	37.0	33.0	50.0	46.0
市内の高校へ進学した生徒の率	全生徒のうち市内の高校へ進学した生徒の割合	目標 実績 達成率	%	-	48.6%	50.0%	43.4%	64.1%	57.5%
			目標	6	6	5	5	5	
			実績	5	6	6	5	5	
高校生が学習サポーターとして参加した中学校の数	学習サポーターを受け入れた中学校数	目標 実績 達成率	校	5	6	6	5	5	5
			%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
			目標	2	3	3	3	3	
幼保小連携協議会の開催回数	情報共有のための会議の開催回数	目標 実績 達成率	回	2	3	3	3	3	4
			%	-	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	133.3%
			目標	-	-	5	5	5	5
○ 小中一体教育推進協議会実施ブロック数	小中一体教育推進協議会を3回以上開催した中学校ブロック数	目標 実績 達成率	ブロック	-	-	5	5	5	5
			%	-	#VALUE!	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
			目標	-	-	-	-	-	-
指標の分析	9年間を見通した系統的な教育をめざし、中学校区5ブロックすべてがそれぞれの良さを生かして、授業改善や情報交換等に取り組んでおり、小中一体教育推進協議会も計画的に実施してきました。ブロックごとに学力状況調査結果の分析を行い、課題を共通理解して学力向上に取り組んでいます。また、幼児教育基本方針“臼杵っこ育ての羅針盤”により、幼保小中一体教育として、幼稚園・保育園(所)と小学校とのつながりを積極的に進め、合同研修などにより“つながり”ある教育の実現に向けた取り組みを行っています。市内の高校への進学率は、目標値に達せず課題が残っていますが、市内全中学校の学力向上の取り組みを強化することで、市外の公立高校や私立高校の特進コースを選択する幅も広がっており、市内の高校の魅力づくりと中高連携の強化が必要です。	満足度	目標	-	-	-	-	-	-
			実績	-	-	-	-	-	-
			達成率	%	-	-	-	-	-

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果 (R1調査)	検討領域	2.14	1.29
市民意識調査結果分析	<p>・令和元年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」とともに低く、「検討領域」に位置しており、施策や事業の内容について再考の余地があります。</p> <p>・令和元年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」とともに低く、「検討領域」に位置しています。妊娠前から18歳までの継続した子育て支援の充実を行う一環として子ども子育て課との連携が求められており、幼保小中高の連携を深めたその成果を家庭や地域に伝えていく必要があります。</p>		

<次年度以降の課題>

令和2年度以降の課題	18年間を意識した幼保小中高のつながりを円滑に行うために、幼児教育基本方針“臼杵っこ”育ての羅針盤の内容を保護者や地域へ周知し、家庭教育と合わせて実践していく必要があります。幼保小中高一体教育の推進を充実させるためには、幼保小の情報交換会や交流事業の充実とともに、幼児教育推進協議会や幼保小連携推進委員会の定期的な開催により、幼保と小学校を滑らかにつなげ連携を深めていく必要があります。また、臼杵の将来を担う人材の育成を行う高等学校とつながりを深める体制の構築も必要です。
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長 評価	公共 5カ 年	他の 関連施策 コード
				H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み			
1 高等学校奨学資金交付金事業	学校教育法に規定する高等学校・高等専門学校に通学する生徒のうち学業・人物ともに優秀でかつ経済的理由により就学困難な者に対して奨学金を贈与する事業です。	学校教育課		2,460	2,445	2,760	重点継続		
2 要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業	経済的理由により就学が困難であると認められる児童・生徒の保護者に対して必要な援助を与える事業です。	学校教育課		28,300	22,771	31,000	重点継続		
3 小中一体教育推進事業	中学校を1つのブロックとして、小中学校9年間の教育目標・方針を明確にし教育活動を行います。	学校教育課		1,410	996	890	重点継続	○	V-12-28
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				32,170	26,212	34,650			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	幼保小中一体教育については幼児教育基本方針“臼杵っこ”育ての羅針盤の実践に向けて幼保小の連携を深め、小学校ごとに幼保との交流事業や幼保小中の合同研修を行い、連携を深める取り組みが充実し始めています。、小中の連携においては、推進協議会や各ブロックごとの3部会とブロック独自部会で合同研修や事業を行っています。、小中の連携についても、学習サポーターの取り組みや授業交流、情報交換に努めています。、臼杵市内の高校へ進学する生徒が市内の高校に魅力を感じ、臼杵市に誇りと愛着を持つことができる教育内容の充実に継続して取り組む必要があります。	課長評価	最重点施策であり、来年度強化する
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

進捗状況	-	内部評価	-
------	---	------	---

<臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
	-

<臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--